

令和2年度環境測定分析統一精度管理調査 九州ブロック会議議事概要

日時：令和2年12月4日（金）13:30～15:30

場所：Web 会議方式

1 開会

2 挨拶

長崎県環境保健研究センター

所長 古賀 浩光 氏

環境省水・大気環境局総務課環境管理技術室

室長 平澤 崇裕 氏

3 議事

(1) 令和元年度環境測定分析統一精度管理調査結果について

一般財団法人 日本環境衛生センター 環境事業第二部 課長代理 佐々木 秀輝 氏

(2) 環境測定分析における留意点及び精度管理について

・ (元) 一般財団法人 日本環境衛生センター 環境科学部 西尾 高好 氏

・ 国立医薬品食品衛生研究所 生活衛生化学部 第三室 室長 小林 憲弘 氏

・ 国立研究開発法人国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター

主任研究員 山本 貴士 氏

・ 国立研究開発法人産業技術総合研究所 環境創生研究部門

環境計測技術研究グループ長 中里 哲也 氏

4 質疑応答

Q: 模擬水質試料の農薬グリホサート検査について、検査が困難だったことを記憶している。

14 機関参加しているが、誘導体化して測定しているのか。

A: 誘導体化しないと LC では分析できないし誘導体化が一般的方法である。最近ではイオン交換系カラムを用いて直接分析する方法も論文に出されている。参加機関がどの方法で分析したかは確認しないとわからない。

5 次期開催機関挨拶

大分県衛生環境研究センター 主幹研究員（総括） 後藤 郁夫 氏

6 閉会